

研究実施のお知らせ

2023年10月12日 ver.1.0

研究課題名

外傷性肝損傷の臨床的特徴と治療成績の検討

研究の対象となる方

2013年4月から2023年10月の間に島根大学医学部附属病院で外傷性肝損傷と診断された方

研究の目的・意義

外傷性肝損傷は肝損傷は鈍的または穿通性外傷から生じ、より大きな損傷では大量に出血し、出血性ショックを引き起こし、死亡率が高い外傷です。治療の第一選択は手術療法から非手術療法（non-operative management; NOM）へと変遷しており、海外からの報告によると NOM 選択率は 86%と報告され、積極的な NOM の選択により肝関連死亡率の低下を認める一方、経過の中で肝関連合併症を認め手術療法へと移行させるを得ない症例も存在することが報告され、NOM の適応と限界に関してはいまだ議論の余地があります。

当院における外傷性肝損傷については、外傷外科を専門とする acute care surgeon が 24 時間常駐しており、NOM を選択した場合においてもすぐに手術治療に移行可能であり、また、胆汁漏発生時においても、消化器内科医における胆道ドレナージが迅速に可能な診療体制を有しています。以上より当院における外傷性肝損傷の治療成績は既報より改善されているという可能性があり、本研究を計画しました。当院の外傷性肝損傷に対する現状を解析することで、適切な治療方法だけでなく、早期認知や早期治療介入を実践するための具体的な方策がわかる可能性があります。

研究の方法

本研究は過去の記録から、患者背景（年齢、性別、既往歴、手術歴）、手術前後採血データ、重症度、手術内容、集中治療室入室期間、術後合併症、転帰について解析する観察研究です。研究のために新たな検査や治療が発生することはありません。また、患者様への謝礼などありません。研究で用いる情報は、氏名、患者IDを削除した上で解析を行います。

研究の期間

2024年1月12日～2026年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座 室野井智博

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年4月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

室野井智博

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2757